

平成 23 年度 秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」運営評委員会

特定非営利活動法人あきたパートナーシップは、秋田県ゆとり生活創造センターの指定管理者として、センターがさまざまな利用をしている県民の声を生かし円滑に運営されるよう、管理方法や運営のあり方について評価・提言をしていただくため、「秋田県ゆとり生活創造センター運営評価委員会」を設置しています。

平成 23 年 7 月 5 日（火）開催の運営評価委員会におきまして、平成 22 年度の評価・提言をいただきました。

運営評価委員

国際教養大学 グローバルスタディーズ課程長 地域環境研究センター教授	前中ひろみ
マックスバリュ東北株式会社 環境・社会貢献部長	山本まゆみ
特定非営利活動法人 あきた地域資源ネットワーク 専務理事	鏡 啓 記
上北手地区振興会 会長	熊谷 金悦
秋田地区交通安全協会上北手支部 支部長	鎌 田 勇
遊学舎団体事務ブース 秋田県経営品質協議会 事務局長	柿崎 博美
遊学舎活動サークル 桜囲碁サークル 代表	佐々木一志

運営評価

(評価点数は 5 点満点の平均点です)

1. 管理業務の実施状況について		
	①施設の利用状況はどうか。	4.8 点
	②適切な管理運営を行う体制が整っているか。	4.1 点
	③適切な施設の維持管理がなされているか。	4.2 点
	④収支状況、財務状況は安全勝つ健全か。	4.5 点
2. 企画運営について		
	①施設の設置目的に沿った運営がなされているか。	4.7 点
	②事業の実績状況はどうか。	4.4 点
	③利用者に対するサービス向上のと入り組み画がなされているか。	4.1 点
	④利用者の意見を反映した運営がなされているか。	4.4 点

総合所見

- ・ 指定管理者として、施設の管理運営の業務を良好に実施している。これまでの経験をふまえて更なる発展を期待できる。
- ・ 限られた人員で多用な活動を熟している。コーディネーター的な役割から脱し、利用者へのサービスをアップさせるためにも適切な人員配置を要すると思う。
- ・ 指定管理金額が減額されているなか、検討していると感じる。今後も秋田県中央地区の市民活動拠点として努力して欲しい。
- ・ 利用者の多さにおどろいている。施設の中で建設時の目的と異なっている箇所については県に働きかけて改善していただきたい。財務とサービス向上は、相反するものと考えられる。人件費の節減には、限界があるので注意されたい。
- ・ 利用時間（開館・閉館）の見直しをしてもよいのではないか。フリーマーケットなどと他の催し物を同時に開催して、利用者が多く集まるように考えてはどうか。
- ・ CB や SB を含めた「起業者」の拠りどころになる「サービスサロン」の設置を望む。
- ・ 職場全体に活気があり良いと思う。